

東つ子

甲府一
明るい
東小学校

甲府一明るい 運動会に向けて



第五十九回秋季大運動会が九月二十四(土)に開催されます。

『つなげ! 三百七十三人の勝利への心』のテーマのもと練習にも一段と熱が入り、子どもたちの表現や競技練習の時の表情に一層気合いが感じられるようになってきました。残暑の厳しさが懸念されましたので、小まめに水分補給をする等熱中症対策に十二分に配慮しました。当日は走運動、競争競技、表現運動等、全二十四種目

にチャレンジしましす。速く走り、たくましく競技し、美しく演技していくこと

- ① 最後まで力いっぱい、諦めずに取り組んでいくか。
- ② 練習して積み重ねてきたこと、準備したことを生かそうと努力しているか。
- ③ 心を一つに合わせ、協力したり、応援したりして仲間を大切にしているか。
- ④ 自分の役割や責任を進んで果たそうとしているか。

【お願い】

保護者の皆様には、準備・運営・片付け等においてご協力をお願いすることになります。観覧されたすべての方のご協力の下、素晴らしい感動を共有できる運動会にしたいと思います。

防災訓練

平成二十三年の東日本大震災、近くは今年の四月に起きた熊本大震災等の自然災害は、私たちに大きな衝撃を与えました。それゆえ、子どもたちが安全で安心して学校生活を送るためにとて大切となるのが「防災訓練」です。



宮城県南三陸町の沿岸部にある南三陸町立戸倉小学校は、東日本大震災に伴う津波に襲われました。三階建ての校舎は屋上の給水タンクの上まで全て水没し、水が引いた後には、周りの建物もほとんど流されるといふ非常に大きな被害を受けました。戸倉小学校では、地震発生後すぐに校庭に避難した後、あらかじめ避難場所として設定していた近くの高台へと避難しました。その後、津波がさらに迫ってきましたが、より高い場所にある神社へ全員が無事に避難できました。

した。児童には訓練があることを伝えず、抜き打ちの訓練でした。加えて休み時間、想定で実施しました。これは、自分で行動できるようになることが大切であると考えたからです。災害による被害をできるだけ少なくするためには、「三助」が重要になるといわれています。「三助」とは、「一人一人が自ら取り組む」「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「互助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」です。その中でも基本となるのは「自助」です。特に災害が発生したときは、まず、自分の命は自分で守ることが最も大切となります。防災対策には、十分と絶対大丈夫というものはありません。防災訓練を通じ、東小学校の一人一人が、被害をできるだけ少なくするために必要な対策を講じ、自己の安全を守ることを願っています。



